

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 馬場隆寿SAA委員長

◆四つのテスト 古里安幸さん

◆ご来訪ロータリアン

◆会長挨拶 山田孝二会長



皆さん、こんにちは。会長挨拶をさせていただきます。本来であれば、ガバナー補佐訪問例会でしたが、昨日天本ガバナー補佐から尾本幹事に連絡があり体調不良とのことで延期とさせていただきます。日程が決まり次第、ご報告させていただきます。世界陸上も終わり、現在はバスケットボールのワールドカップが開催されています。来月からはラグビーのワールドカップが開催されます。世界陸上では、女子やり投げで北口榛花さんが金メダル、35キロ競歩で川野将虎さんが銅メダルを取りました。男子の100×4リレー(5位)、110MHの泉谷(5位)、3000M障害の三浦龍司(6位)、女子1500Mの田中希実(8位)、10000Mの廣中璃梨佳(7位)など、素晴らしい結果だと思います。私的には、マラソンでもうちょっと世界と戦うことのできる日本人に出てきて欲しいなあと思います。今回の男子マラソンでは、三菱重工の山下一貴選手が終盤40キロ過ぎまで5位を走ってました。残念ながら両足のけいれんなどで立ち止まったりしたので、最終的には失速し12位でした。今後に期待ができる走りだったと思います。しかしながら、世界の現状はどうかというと・・・マラソンの世界歴代ベスト100の中を見ても、90人以上がケニア、エチオピア、タンザニアのランナーです。ちなみに80位に鈴木健吾がよく出てきます。21年の琵琶湖で出した日本記録です。以上を踏まえてオリンピックや世界陸上で日本選手がメダルを取れないかという、意外とそうではないんです。何故ならこのような大会には1か国3人しか代表になれません。更にはオリンピックや世界陸上はだいたい夏の暑い時期に行われます。なので、気象条件が良くて各国10人くらいの出場であれば、日本人のメダルはほぼ絶望だと思いますが、可能性としてはあるわけです。この前のレースは日本人ランナーにとっては、理想的な展開だったと思います。前半ややスローペースで後半に一気にペースが上がる。そこには付いていかず、落ちてきたランナーを拾って順位を上げていくという展開です。10月にはMGCというパリオリンピック代表を決めるレースがあります。このレースの前にはまたマラソンの話をしたいと思います。今日は、公共イメージ向上事業の説明についての動画を見ていただきます。宜しくお願いいたします。

◆幹事報告 尾本久男幹事

■公共イメージ委員長セミナー報告 8/26(土)東彼杵総合会館において開催。委員長の出席が叶わなかったため、幹事が出席して参りました。内容は第1部、第2部構成で行われ、第1部はロータリークラブの世間一般の認知度の話でした。また、ポリオの認知度も低いので、ロータリークラブとともに正確に認知されるようにしたいとの事。第2部は、公共イメージがどういうことをやっているかを広めるために、ホームページに活動内容をアップする練習を行いました。後日皆さんとアップする方法等勉強したいと思います。

◆ニコニコ箱

- 山田孝二さん とりあえずニコニコ。
- 今村 淳さん 久しぶりの例会参加です。

公共イメージ向上ZOOM説明会動画



◆期首会員数	36名	◆入会者	1名	◆退会者	0名	◆現在	37名
◆8/29例会出席	20名	◆免除者出席	8名	◆欠席	17名	◆出席率	58.82%

◆ハイライトよねやま 281号 「再会 in 関東」開催 過去最多の 1,000 人超え

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」(主催:関東10地区米山学友会)が 8/5、つくば市国際会議場で開催されました。また、前日には前夜祭、6日にはつくば市内で文化体験バスツアーが行われました。今回つくば市が開催地となった背景に、世界最大級のサイエンスシティが、勉学を目的に来日した経験を持つ米山学友が集うのに相応しい都市であるだけでなく、東日本大震災の被災地でもある地で大きな集いを開催することで、地域貢献・活性化に繋がりたい、という実行委員会の思いがあります。その思いの通り、世界38カ国の米山学友と現役奨学生638人、ロータリアン447人、その他家族などを含め、登録者数は総勢1,209人となり、広い会場は超満員となりました。同日午前中には、各学友会の活性化を目指したポスター、キャリアデザイン支援を目的とするビジネスポスターが会場内の壁面いっぱい飾られ、当会役職理事や主催の関東10地区ガバナーの審査により、優秀作品に選ばれた作品には、式典内で目録が贈られました。また、「米山フェスティバル」と題し、各国のお菓子を持ち寄り、交流の時間が設けられました。14時半から本大会式典が開始。オープニングセレモニーでは、第2回世界大会「絆inモンゴル」実行委員長のジャンチブ・ガルバドラッハさん(1998-99/山形北RC)から、「再会 in 関東」実行委員長の朴パク貞子サダコ さん(2006-08/岸和田RC)へ米山世界大会シンボルの引き渡しが行われました。当会の若林紀男理事長、韓国学友会の全炳ジョンビョン台会長(1980-83・91/仙台北RC)、つくば市市長の五十嵐立青氏から、祝辞が述べられました。今大会の開催に向けて、主催の関東10地区学友会では、チャリティー奉仕リレーとして募金活動を行い、集まった寄付金407,381円は、子供の貧困問題に取り組むNPO 法人 Learning for All の山村卓矢氏へ手渡しされました。「米山学友の在り方と世界大会の開催意義」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、ファシリテーターの第2750地区宮崎陽市郎ガバナーと米山学友5人が登壇し、奨学生時代の思い出や、当事業への思いが語られました。その後、今年7月から活動を開始した第5代よねやま親善大使3人による自己紹介、米山梅吉記念館についての紹介を挟み、百人合唱祭ではテーマソングである「米山の絆」の大合唱が行われ、会場は熱気に包まれました。会場を移して迎えた第二部の懇親会では、ベトナムやミャンマー、国内学友による民族舞踊、ダンスパフォーマンス、演奏や合唱が次々に披露され、笑顔で溢れた会場は、大盛り上がりそのまま閉幕となりました。次回の第4回となる世界大会の開催地は台湾 に決定。2026年6月に開催予定です。



◆湊神社にある大燈籠 許斐義彦

三菱の野球場の前にある、湊神社(弁才天を祀る妙見社から始まり、寛永11年、宝珠山萬福寺と変わり、明治維新の神仏混淆禁止で、市杵島姫命を祭神とする神社に変わった)にある宝珠山萬福寺時代、今の三菱野球場が海だった頃、海に建っていた大きな燈籠が境内にあります。



◆徳川家の家紋「三つ葉葵」 許斐義彦

長崎公園(諏訪神社に隣接)に入る所に、徳川家の家紋「三つ葉葵」が描かれた門があります。これは昔、「安禪寺」という長崎奉行が交代する時の宿泊所になったり、徳川家の先祖を祀っていたり、奉行所と係り合いの深いお寺で、明治維新で幕府の庇護がなくなって、急速に衰退し廃寺となった入口の門と言われています。因みに、この「安禪寺」を観光案内にない歴史遺産と評価する方もいる。繁々と見つめて、通るひともし少ないようです。



ニコニコ箱	目標 1,200,000円	8/29	6,000円	累計	164,000円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	8/29	9,000円	累計	43,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	8/29	5,000円	累計	6,000円